



Cardiovascular Center 心臓血管センター

[循環器内科へ](#)

[胸部外科へ](#)

技術×信頼

——循環器診療の新たな基準

【心臓血管センター長】 谷川 高士

【施設認定】

日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設

2024年 実績

経皮冠動脈形成術（*PCI*）

226

件／年

経皮的血管形成術（*EVT*）

81

件／年

カテーテルアブレーション

174

件／年

腹部人工血管置換術

17

件／年

冠動脈、大動脈バイパス移植術

16

件／年

松阪中央総合病院 心臓血管センターでは、地域の皆様の心臓病や血管疾患の早期発見と質の高い治療を目指し、専門医（循環器内科医、心臓血管外科医）による強固なチーム医療体制を築いています。最新かつ高度な医療設備を駆使しながら、地域に密着したきめ細やかな医療提供を行ってまいります。循環器疾患の最前線を担う存在として、皆様が安心して健やかに暮らせる環境づくりに貢献し、地域医療の充実に邁進いたします。

当院の心臓血管病診療体制



外来診療

高血圧症、脂質異常症、糖尿病に対しては投薬・生活指導が中心となりますが、循環器疾患発症の監視も併せて行っています。

労作時の胸痛や糖尿病のコントロールが不良な高リスクの患者さんには、負担の少ないCT・MRI検査を積極的に用い、冠動脈の情報を得るようにしています。また、*ABI*(四肢の血圧同時測定)、血管エコー検査による末梢血管の評価を行うことで動脈硬化の早期発見を目指しています。

症状の安定した患者さんは、近隣の開業医の先生に継続加療をお願いしており、病診連携を積極的に行うことで、開業医の先生にも信頼される医療機関を目指しています。

入院診療

虚血性心疾患に対しては経皮的冠動脈形成術を行いますが、経橈骨動脈法（手首の血管からカテーテルの検査および治療）を積極的に取り入れて患者さんの精神的・肉体的負担の軽減に努めています。

不整脈に対しては、心臓カテーテルアブレーション（心筋焼灼術）治療や心臓ペースメーカー治療を積極的に行っています。

さらに、難治性心不全に対しては、先進的治療である両心室ペースメーカー植込術や心室頻拍/心室細動などの致死性不整脈に対する埋込型除細動付きペースメーカー植込術を行っています。

その他

健康診断・人間ドックなどで血圧・コレステロール値の異常を指摘された方、胸部疾患でお困りご心配の方、心臓病を指摘されお悩みの方はお気軽に内科外来受付までご相談ください。また、糖尿病の患者さんにおきましては、症状がないまま心臓疾患を併発することがありますので、心臓の検診をお勧めします。

実施可能な検査・手術



検査

心電図、ホルター心電図、トレッドミルテスト、心エコー検査、頸動脈エコー検査、下肢動脈・静脈エコー検査、経食道心エコー検査、*ABI*検査（足関節上腕血圧比）、*PWV*検査（脈波伝播速度）、心臓CT、心臓MRI、*PET-CT*、心筋シンチ、*SPP*検査（皮膚灌流圧）、*CGM*検査（持続血糖測定）、*PSG*検査（睡眠時無呼吸検査）

手術

経皮的冠動脈形成術、末梢血管形成術、心臓カテーテルアブレーション（心筋焼灼術）、ペースメーカー植込術、両心室ペースメーカー植込術、埋込型除細動付ペースメーカー植込術、一時的ペースメーカー、下大静脈フィルター留置術